

柏木 B 遺跡出土品 <石棒 2 点・漆塗りの櫛 1 点>

■かしわぎびーいせきしゅつどひん <せきぼう・うるしぬりのくし>

恵庭市指定有形文化財

所有者 恵庭市教育委員会

指定年月日 平成 5 年 3 月 26 日

所在地 恵庭市郷土資料館

石棒 A 粘板岩製 長さ: 49.8 cm

幅 : 3.44 cm

厚さ: 2.88 cm

重さ: 800g

石棒 B 粘板岩製 長さ: 59.74 cm

幅 : 4.52 cm

厚さ: 3.71 cm

重さ: 1,650g



年代 縄文時代後期末葉

昭和 54 年、市内柏木の柏木 B 遺跡の発掘調査で集団墓地である「環状土籬(かんじょうどり)」から出土したものです。遺体埋葬の際に納められた副葬品と考えられ、その工芸的、美術的価値の高さとともに当時の精神文化を示すものとして高く評価されています。

漆塗りの櫛 高さ: 6.86 cm

幅 : 9.43 cm

厚さ: 0.96 cm

重さ: 85.00g

年代 縄文時代後期末葉



昭和 53 年、市内柏木の柏木 B 遺跡の発掘調査で「列状群集墓(れつじょうぐんしゅうぼ)」から発見されました。櫛の歯と体部の木質部分は腐植のために消失していますが漆で塗られた体部表面はほぼ原形を保っており、透かし模様が施されて赤色顔料の発色物質として水銀朱(すいぎんしゅ)が用いられています。